



自然分散型は

答 地元と協議

補助事業で舗装工事を行うので、排水方法は県とも充分協議し進める。

答

大野産業建設課長

延長が1460m、数ヶ所に分けてもかなりの水量になる。もう少し小さな横断溝を10〜30mごとに分散させては。

問

藤 野

現地調査を行って、施行したいと思っている。出来るだけ、数ヶ所に分散した方がいいと思っている。地元とも協議し、良い方向を見出したい。

答

町 長

22年度、中地区で舗装工事が行われた。尾根を通っている道路で、側溝を設け、山林に流している。急傾斜地で、危険だと思ふ。数ヶ所に小さな横断溝を設け、自然分散型にしてはどうか。

問

藤野格昭



道路排水（危険）

給食への町産物は

答 モデル的に始める

問

藤 野

3月の定例会で町長は「町内で調達できる体制の構築を図り、可能な物は町産物で賄いたい」と言ったが、今までの取り組みと、今後の考えは。

答

町 長

フードプランに一括発注し、町内で調達できない物は、市場仕入れで給食センターに納品してもらう。

集荷システムの構築を行い、高齢者の方々に出荷しやすい体制を整え、食材の充実と農家の所得向上に繋げたい。

問

藤 野

フードプランを中心にして、全町で行うのか。

答

竹本企画課長

清流市組合プラスその他の農家と考えている。農作物が多く産出されている所から、モデル的に始めたい。

問

藤 野

集出荷も踏まえ、フードプランと清流市と絡めながら、食材も構えては。

答

企画課長

情報を収集しながら、少量を集め、ロットを構える格好にしたい。

地域おこし協力隊は

答 経験を重ねてもらおう

問

藤 野

3月末で2人が退職したと聞く。今までの過程と今後は。

答

町 長

町の行事の手伝いや、町内のイベントへの参加、各種団体活動支援、県主催事業への参加により、知識と経験を積み重ねていく。

今回のことを検証し、新たな募集を含め、前向きに検討していく。

問

農本規仁

昨年9月議会で、連動型南海地震の時の避難所について質問した。まさかと思いつながら、被災された方にお悔やみとお見舞いを申し上げます。

新庁舎を早急に

答 庁舎建設検討委員会設置



過去にも東北地方で、連動型巨大地震の直後に、西日本でも巨大地震が記録されており、県も防災計画を見直すと言っている。

災害対策本部を設置するべき本庁舎、仁淀支所は耐震強度がなく、町民が安心できない。早急に、最悪の想定で環境に配慮した庁舎の建築が必要と考えるが。

答

町 長

本庁舎の耐震診断は、判定指標以下のうえ、著しい老朽化、バリアフリーでなく、また駐車場が狭いなど建て替えを考えている。

更に有事の際、地域の防災拠点として「災害から命を守る」自治体の責務を遂行できる施設として、また町民の意見を聞くため、早期に庁舎建設検討委員会を設置し、検討する。

仁淀支所も今年度耐震診断を受け、結果により補強、または建て替えの検討もしていく。

問

農 本

町の防災計画も、見直すのか。

答

岡崎総務課長

県も見直しており、必要などころは見直す。

迂回路に標識

答 地域の要望で



仁淀支所（S44年 築）

問

農 本

度重なる国道の落石により、町道や林道を使つて、町民だけでなく町外の人も迂回を余儀なくされ、道に迷い、山中をさまよった話しも聞いた。拡充整備も必要だが、標識の設置は万全か。

答

大野産業建設課長

町道や林道は、幅員も

狭く、安全面から迂回路として指定はできないが、町道の整備や標識の設置はできる。

地域からの要望は、可能な範囲検討する。地形が急峻、地盤も弱く、早急な整備を必要とする場所が多く、町としては一番安全な国道が、通行止めにならないよう、国、県に整備促進を要望していく。



本庁（S43年 築）



補助金の交付は慎重に

答 町長・副町長の決済で

問

若藤敏久

機械部品の加工業者（従業員1人）が株式会社に変更し、直後に町は交付金を支出している。どのような検討がされたのか、経緯を。

答

竹本企画課長

副町長他4人の課長で、検討委員会を数回開催したが、交付の是非は結論に至らず、採択は町長、副町長の決済を経て決定している。交付申請書を受理後に、減額や却下した案件はない。

問

若藤

地方公共団体は「公益上必要な場合は、寄付又は補助ができる」となっているが、客観的（住民の）認定が必要である。

「営利を目的とする企業に対する補助は、特別な事由がなければ認められない」と、法で定められており、株式会社に変更しても、営利目的の企

業に変わりはなく、1、2人の雇用が見込めるだけでは、特別な事由とは認められない。

答

片岡副町長

客観的な判断は、検討会でも議論した。

1、2人雇用の考えに差はあるが、地域における付加価値を換算し、公益性があると判断をした。この事業は、雇用拡大や地域活性化のため、財源状況を見、継続したい。



小型ポンプ操法整列

規則を改正すべき

答

慎重に対応

問

若藤

これまでも、保冷車や裁断機の購入など、公益性が疑わしき案件がある。

規則によると、この事業は「予算の範囲内で交付する」となっているが、予算額も決めず、補正でも対応しているのはどのような考えか。

また「交付金は、各事業ごとに300万円まで」となっているが、「二団体、一企業に300万円まで」と改正すべきだ。

答

副町長

県の産業振興計画で、地産外商を推進する中、国や県の採択にならない案件を支援するため、この制度を導入した。

一団体、一企業に重複する点は検討をするが、補正予算も予算であると、解釈をしている。

答

町長

今後の執行にあたっては、指摘された点を含め、慎重に対応する。



操作はじめ よし！



筒先員交代

ビン収集コンテナは、前日に配達することが定められている。
業者への対応が、吾川地区と池川地区で異なるのはなぜか。

問

若 藤

指導は徹底に

答 指導不足を反省

答

尾崎町民課長

前日ではなく、早くから設置されており、業者に連絡をしたが、徹底できず迷惑をかけた。

答

田沼健康福祉課長

前日以前に設置されていたことがあり、回収を指導した。

問

若 藤

池川地区で指導された業者は、担当の指示に従いすぐ回収し、翌日、人を雇用し、車を構え対応している。

吾川地区の業者は、大崎周辺の目立つ場所は回収しているが、ほかは放置されたままであった。指導は徹底すべきだ。

答

町民課長

指導不足を反省し、前日も代表者に注意した。

私には、あたりまえにいる家族とは別に、もうひとつ大切な家族があります。

コラム



十七人家族

2年前は、ただの友達としか見れていなかったけど、私の性格や苦手な物などを理解してくれて、つらい時などがあると、相談にのってくれる優しい友達ばかりだったのです。その時から気持ちが変わり、家族として見るようになりました。

今まで2年間ありがとうございました。そして、卒業までよろしく。

仁中 掛水 彩華

その家族は、2年前にできたばかりの17人家族です。

私たちの地域には、温かい人がたくさんいます。あいさつをすると、当たり前

家族のように声をかけてくれます。

このように私たちの地域の人は、私たちを温かく見守ってくれているので、私たちはここまで何事もなく、過ごせて

私たちの地域

これらんだと思います。

これから、この仁淀から離れる時が来ると思う

けど、自分が大人になった時に、この地域の方々のような温かい人でありたいです。

仁中 中越 瑞希

前のように返してくれます。また、学校から帰ってくると、「お帰りなさい。」と

長者花しょうぶ祭



お詫びと訂正

第23号中、8ページ「消滅」を「削減」と誤記していたしました。